

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 【新】アグリパーク構想推進事業費（R8分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農政課 政策企画係 電話番号：058-272-1111(内4017)

E-mail : c11411@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 5,000千円 (現計予算額： 0千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	5,000	1,150	0	0	0	0	0	0	3,850
決定額	5,000	1,150	0	0	0	0	0	0	3,850

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

農業従事者の急速な減少が避けられない中、県民に、安全・安心で美味しい食を安定的に供給してくためには、従来の専業を基本とする大規模経営体を中心に農業を担う構造から、それ以外の兼業や副業など多様な形で、共に農業を担う「ハイブリッド型」構造へ転換していくことが重要。

このため、農村地域内の非農家や都市住民など、多様な主体が気軽に農業を体験し、楽しみながらノウハウを学ぶスタートアップの場を設け、その延長線上で新たに農業に参入してもらうことを目指す「アグリパーク構想」の実現を進める。

「アグリパーク構想」の実現にあたり、モデルの構築と、構築されたモデルをイベント等での周知でしっかりと横展開し、県内に広く波及させる必要がある。

(2) 事業内容

アグリパーク構想に関する県内外へのPRのほか、アグリパーク構想実現に向けた各種事業・取組への支援を県内農林事務所等関係機関と連携して行う。

関連事業・アグリパーク重点推進モデル実践事業費補助金
 • アグリパークサポート体制構築事業費

(3) 県負担・補助率の考え方

うち需用費(印刷製本費)、委託費：2,300千円 県1／2、国1／2
(地域未来交付金(地域未来推進型)の活用を想定(対象経費のみ))
上記以外 県10/10

(4) 類似事業の有無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	100	報償費
旅費	1,200	業務旅費
需用費	1,722	消耗品費、燃料費、会議費、印刷製本費
役務費	100	通信費等
委託料	1,800	イベント等委託費用
その他	78	使用料、負担金
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ぎふ農業活性化基本計画(仮称:令和8.3月策定予定)(R8~12年度)
 - I 新たな担い手の確保
 - 1 多様な主体の参画促進

(2) 国・他県の状況

国は大規模な担い手の育成等の推進を重視しており、「アグリパーク構想」を通じた多様な主体による農業への参画、こうした主体への支援体制などへの予算は不十分であるところから、県が独自に推進する必要がある。

(3) 後年度の財政負担

アグリパーク構想の実現のために必要な経費であり、次年度以降も継続した支援が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

「アグリパーク構想」の実現に向け、アグリパーク重点推進モデル実践事業費補助金等の事業の推進や、モデル構築後、横展開のためのPR活動を県が実施する必要がある。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・アグリパーク構想による農業参入者を含めた多様な農業を担う主体が、地域を牽引する経営体とともに地域や食料構造を支えるハイブリッド型の農業構造への転換を進める。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R7年度 実績	R8年度 目標	R9年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
アグリパーク構想を通じ農業に参画した主体数	0			10	(累計) 550	

○指標を設定することができない場合の理由

（記入欄）

(これまでの取組内容と成果)

令和 5 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 6 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 7 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
(評価)	

(今後の課題)

- 事業が直面する課題や改善が必要な事項

「アグリパーク構想」の実現にあたり、モデルの構築と、構築されたモデルをイベント等での周知でしっかりと横展開し、県内に広く波及させる必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
　モデル構築やその横展開など、地域の実状に応じた多様な主体を支援する仕組みを引き続き支援する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	